

阪和興業株式会社

〒104-8429 東京都中央区築地一丁目13番1号

2021年4月1日
阪和興業株式会社

「電池チーム」新設の件

阪和興業株式会社（以下、当社）は、グローバル・スケールでの環境保護意識の急激な高まりを起因とし、本格的に脱炭素化へと舵を切った自動車産業の急速な電動化(蓄電池の性能向上)によって市場環境が大きく変化する中、従来から電池原料資源に密接に関わってきた中で培ってきた Know-how をもって事業の拡大と共に社会への具体的な貢献を図るべく、「川上～川下～再生」という二次電池のライフ・サイクルでのマクロとミクロの変化に迅速に対応する統合的取り組みに特化した横断的組織として、この度「電池チーム」を新設することといたしました。

【電池チームの概要】

名称 電池チーム（英語名：BATTERY TEAM）

設立 2021年4月1日

内容 二次電池や燃料電池のライフ・サイクル上の全ての原料、製品及びサービスにかかわる事業の総括

主要原料 - ニッケル/コバルト/リチウム/マンガン/シリコン/グラファイト等

主要部材全般 - 正極材(前駆体)/負極材/電解液(質)/セパレータ 等

半製品全般

蓄電製品

リサイクル原料/製品リユース

二次電池産業関連におけるサプライ・チェーンの全ての局面で、当社の特長ある資源投資と特有の機能を活かして事業機会を創出し、二次電池分野での当社の存在感を高めてまいります。

以 上

本件に関する問い合わせ先

阪和興業株式会社 東京本社 電池チーム

TEL 03-3544-2451

<参考資料> 当社の電池関連事業の概要

● 電池関連事業の沿革

当社電池事業は、ニッカド電池向けのニッケル・コバルト原料からスタートし、2000年代初頭のニッケル水素電池を経て、2010年以降は現在主流となっているリチウムイオン電池を最大のターゲットに置き換えて進めて参りました。

最近では、従来の原料トレーディングに加え、電気自動車向けの二次電池の正極材に必要なニッケル及びコバルトの化合物を製造する大規模プロジェクトなど、幾つかなの特長ある資源事業の展開も図っており、積極的に出資参画も行っています。

当社は、これらの投資や事業提携、或いはオフテイク権の取得を通じて、成長する市場での供給能力を拡充し、増加の一途を辿る需要に対応しながら、社会の発展と環境保護に貢献しております。

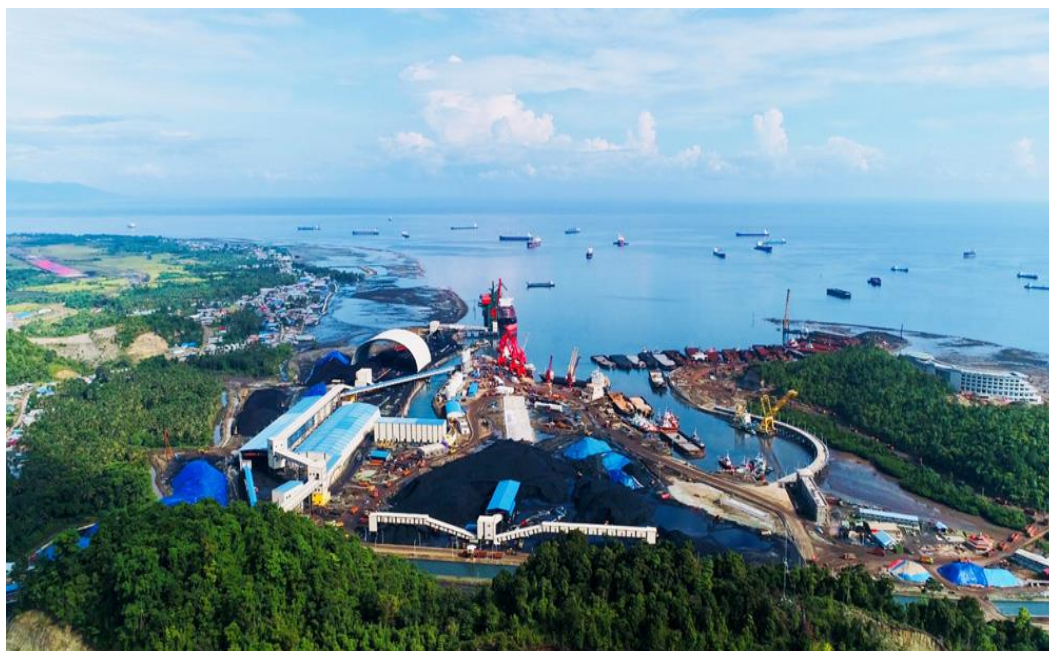
また、インドネシアにおいて当社が参画するニッケル・プロジェクトを主導している「青山実業集団」は、リチウムイオン電池の原料となるニッケルマット製造の技術開発に成功し、電気自動車用原料の生産に使用される電力の供給源として、大規模な再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電及び水力発電)の導入も計画しており、当社も積極的にグリーン開発を支援してまいります。

● 主要な電池関連プロジェクト

① PT. QMB NEW ENERGY MATERIALS – インドネシア共和国

● ニッケル/コバルト/マンガン化合物 製造 (2022年度稼働予定)

電池事業に本格参入した世界最大のステンレス鋼生産者である青山実業と中国のリサイクル最大手のGEM、さらに車載向け二次電池で世界最大の中国CATLに当社が加わり、リチウムイオン電池の製造に欠かすことのできないニッケルやコバルトの化合物を生産する大規模プロジェクトです。



② BACANORA LITHIUM PLC. (SONORA LITHIUM PROJECT) – メキシコ

●リチウム化合物 製造 (2022 年～2023 年稼働予定)

従来の南米の塩湖や豪州の鉱石とは異なる、特長あるリチウム鉱山から二次電池向け高純度リチウム化合物を生産するプロジェクトで、当社は出資参画を通して世界への販売を担って参ります。



③ WATERBERG JV PROJECT – 南アフリカ共和国

●白金族金属/ニッケル/銅 製造 (2024 年稼働予定)

PTM(カナダの鉱山開発企業)と JOGMEC(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)、そして白金族金属生産において世界最大手の一社であるインパラ・プラチナムをパートナーとするプロジェクトです。生産されるメタルは、燃料電池分野などに向けて当社が販売を担ってまいります。



④ RENASCOR RESOURCES LTD. (SIVIOUR GRAPHITE PROJECT)

－ オーストラリア

● グラファイト – 球状化黒鉛、鱗片状黒鉛 (2023 年稼働予定)

2021 年 3 月に MOU(Non-Binding)を締結。南オーストラリアにグラファイト鉱山を保有しており、主にリチウムイオン電池の負極材向けの球状化黒鉛の製造を環境に配慮した形で計画しております。 (今回、新たに発表するプロジェクトです。)



以 上